

(学振助成金用)

## 平成31年度科学研究費助成事業に係る経理処理等について

令和元年5月28日

病理診断科 大久保 陽一郎 様

財務経営課長

先生の助成事業に係る助成金の入金を確認しましたので、次のことについて御協力くださるようお願いいたします。

## 【助成事業の概要等】

- 1 課題番号 17K08713
- 2 研究課題 膵消化管神経内分泌腫瘍の危険因子と浸潤転移機構の解明  
および新規治療法の基盤形成
- 3 研究代表者 大久保 陽一郎
- 4 交付内定日 平成29年度
- 5 交付額内訳① (直接経費) 800000円  
(間接経費) 240000円
- 6 前年度繰越② (直接経費) 158211円
- 7 残高 ①+② (直接経費) 958211円
- 8 次年度への繰越の可否 可

## 【経理事務等に係るお願い】

- 1 提出書類について  
令和元年6月3日(月)までに「間接経費譲渡届出書」を財務経営課担当者あてにご提出ください。
- 2 直接経費の使用
  - (1) 非常勤職員(短期非常勤職員)の雇用  
病院が雇用し、直接経費から病院に支払いすることになります。
    - ・ 直接経費で非常勤職員を雇用する場合、必ず事前に総務課及び経営企画課担当者に連絡ください。
    - ・ 毎月月末に出勤簿の写しを必ず経営企画課担当者まで提出してください。
  - (2) 旅費  
★ 科研費を使用して出張する場合、マイルの取得は厳禁です。

KAKENHI - 2page

# Elucidating metastasis mechanisms and prognostic factors in neuroendocrine tumors

Research Project

All ▼

## Project/Area Number

17K08713

## Research Category

Grant-in-Aid for Scientific Research (C)

## Allocation Type

Multi-year Fund

## Section

一般

## Research Field

Human pathology

## Research Institution

Kanagawa Cancer Center Research Institute

## Principal Investigator

大久保 陽一郎 地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター(臨床研究所), その他部局等, 医長 (40516267)

## Project Period (FY)

2017-04-01 - 2021-03-31

## Project Status

Granted (Fiscal Year 2017)

## Budget Amount \*help

**¥4,680,000 (Direct Cost: ¥3,600,000, Indirect Cost: ¥1,080,000)**

Fiscal Year 2020: ¥1,430,000 (Direct Cost: ¥1,100,000, Indirect Cost: ¥330,000)

Fiscal Year 2019: ¥1,040,000 (Direct Cost: ¥800,000, Indirect Cost: ¥240,000)

Fiscal Year 2018: ¥1,170,000 (Direct Cost: ¥900,000, Indirect Cost: ¥270,000)

Fiscal Year 2017: ¥1,040,000 (Direct Cost: ¥800,000, Indirect Cost: ¥240,000)

## Keywords

neuroendocrine neoplasm / 神経内分泌腫瘍 / 神経内分泌癌 / カルチノイド / neuroendocrine tumor

## Outline of Annual Research Achievements

膵・消化管の神経内分泌腫瘍: neuroendocrine tumor (NET)の罹患率は年々増加傾向にある。研究代表者らは膵・消化管神経内分泌腫瘍の新たな予後予測因子の確立、浸潤・転移機構の解明および新規治療法の基盤形成を目的とし、平成29年度は手術例を含めた後腸由来NETを対象とした各種解析を遂行した。具体的には後腸由来NETとして44内視鏡的切除術例ならびに12外科的切除例を集積することができ、各症例における臨床情報を抽出した。次いで、免疫組織化学的手法も用いて病変部における神経内分泌分化、脈管侵襲の有無、KI-67指数、核分裂数、単位面積当たりの脈管数、腫瘍径を確認した上で、臨床病理情報を比較・検討した。その結果、静脈・リンパ管侵襲は当初考えられていたよりも高率に発生(約30%)していたが、内視鏡切除術例で新たに脈管侵襲が判明した症例は追加切除未施行であるにも関わらず全例で再発なく生存が確認できた。また、病変内の静脈数と腫瘍径の間には有意な正の相関関係が存在した。以上の所見より、脈管侵襲が外科的治療の絶対的な適応因子であるか否かさらなる検討が必要となる。一方、腫瘍病変内の静脈数が腫瘍発育へ関与する可能性も示唆され、転移・浸潤経路や腫瘍発育の解明への新たな道筋も示された。今後、他臓器症例も含め解析を進めることで、神経内分泌腫瘍における浸潤・転移機構の解明や予後予測因子の確立を目指すと同時に、新規治療法確立への基礎的な知見を得たい。

## Current Status of Research Progress

### Current Status of Research Progress

2: Research has progressed on the whole more than it was originally planned.

#### Reason

平成29年度は後腸由来neuroendocrine tumor (NET) 56症例を集積することができ、病理組織学的解析を主体とした各種解析を行った。その結果、脈管侵襲が外科的治療の絶対的な適応因子であるか否かの問題提起を促す結果を得た。また、血管新生と転移・浸潤経路や腫瘍発育の関連性についても、その一端を解明することができた。それ故、一定の研究成果は得られたものと考えている。

一方、解析症例が後腸由来NETに限られており、今後は他臓器NET症例も含めたより詳細な解析を遂行する必要がある。

総合的に予定計画年数の1/4が経過した時点の達成度としてはおおむね順調であることから、上記達成度とした。

## Strategy for Future Research Activity

平成29年度は後腸由来neuroendocrine tumor (NET) 56症例に対する病理組織学的解析を行うことで、後腸NETにおける浸潤・転移機構や予後予測因子の一端を明らかにすることができた。

今後、他臓器症例も含め解析を進めることで、神経内分泌腫瘍における浸潤・転移機構の解明や予後予測因子の確立を目指すと同時に、新規治療法確立への基礎的な知見を得たい。

また、希少NET症例に関しては現存する文献の網羅的解析(システマティック・レビュー)を行うことで希少NET症例を総括して評価できるようにしたい。

## Report (1 results)

2017 Research-status Report

## Research Products (4 results)

	All 2017
	All Journal Article Presentation
[Journal Article] Risk factors associated with the progression and metastases of hindgut neuroendocrine tumors: a retrospective study.	2017 ▼
[Journal Article] Gangliocytic Paraganglioma Is Often Misdiagnosed as Neuroendocrine Tumor G1.	2017 ▼
[Journal Article] Gangliocytic Paraganglioma: a Diagnostic Pitfall of Rare Neuroendocrine Tumor.	2017 ▼
[Presentation] 消化管神経内分泌腫瘍における浸潤・転移機構の解明ならびに予後予測因子の確立	2017 ▼

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-17K08713/>

Published: 2017-04-28 Modified: 2018-12-17

Kanagawa Prefectural Hospitals  
Cancer Fund

(第2号様式の2)

かながわ県立病院がん基金指定研究助成金交付決定通知書

平成30年2月13日

研究者 所属機関名： がんセンター  
所 属： 病理診断科  
氏 名： 大久保 陽一郎 様

かながわ県立病院がん基金運営会議 議長



平成30年1月5日付けで申請のありました研究について、次のとおり助成金を交付することに決定したので通知します。

1 研究の名称	神経内分泌腫瘍に対する病理形態学的アプローチ		
2 研究期間	平成30年2月13日～平成32年3月31日		
3 決定金額	金 800,000 円	〔 内訳 直接経費 616,000 円 間接経費 184,000 円 〕	
4 直接経費内訳	物品費		謝 金
	材料費	616,000 円	旅 費
	人件費		その他

研究終了後、1か月以内に次のものを提出してください。

- ・ 研究実績報告書(第3号様式)
- ・ 収支簿及び支出に係る関係書類の写し等

研究の結果又は経過の全部若しくは一部を刊行し、又は雑誌等に掲載する場合は、かながわ県立病院がん基金(英文名: Kanagawa Prefectural Hospitals Cancer Fund)の助成による研究の成果である旨を明記してください。